

令和7年度入学者選抜

後期日程小論文試験

問題冊子

(岐阜大学医学部看護学科)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子をひらかないこと。
2. 問題冊子の本文は2ページです。その他に、解答用紙2枚と下書き用紙2枚が配付されています。試験開始後これらを確認し、落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所があればただちに試験監督者に申し出ること。
3. 各解答用紙の受験番号欄に受験番号を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の指定された箇所に記入すること。
5. 解答用紙を持ち帰ってはいけません。
6. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。
7. 試験時間は、10時30分から11時30分までの60分間です。

問題1 次の和文を読んで、以下の設問に答えなさい。

(配点 200 点)

答えのない問題

答えは確かに〈ある〉。それが初等中等教育における「問題」の大前提である。そして先生はその答えを知っている。その正しい答えに、どうしたら自分たちも到達できるだろうか。先生が知っているはずの答えと自分のものが一致すれば正解で、違っていればバツ。それが入学試験も含めて、高校までの試験の問題であった。

考えてみると、これは怖いことではないか。なぜなら、小学校から高校まで、誰もが一貫して、問題には必ず答えがあるということを前提とし、正解は必ず一つであると思いついてきたのだから。教師の側も、答えが二つも三つもある問題は避けてきただろうし、答えのない問題は出しようがなかった。

どこかに正解があって、その正解は自分が知らないだけであって、誰かが（たぶん誰か偉い人が）知っていると、頭から思い込んでいること、その呪縛のまま、大学においても同じスタンスで教育を受け、そして社会に出ていく。⁽¹⁾ そんな社会人ばかりが増えていくと考えることは怖いことではないか。

高校までの教育においては、これはやむを得ないことである。しかし、実社会に出て、そのような答えのある〈問題〉というのは、実は何ひとつないの^{いわ}と言ってよい。

たとえば『広辞苑』は、「問題」に四つの意味を載せている。曰く「①問いかけて答えさせる題。解答を要する問い、⁽²⁾ ②研究・論議して解決すべき事柄、③争論の材料となる事件。面倒な事件、④人々の注目を集めている（集めてしかるべき）こと」。

このうち、答えがあるものは①だけ。そして、実社会での問題と言え、②から④までどれをとっても、それには答えがない。あるいは解答や正解を前提としないものである。

たとえば沖縄に基地が集中している「問題」。日本全土のわずか 0.6 パーセントの土地しか持たない沖縄県に、全国に存在する米軍基地の 70 パーセントが集中している。日本人なら、これをそのまま放置しておいていいと考える人はおそらくいないはずである。しかし、これをどうしたらいいのか、その解決法が見つからないままに放置されているのが、放置され続けてきたのが、沖縄問題の本質である。

誰もが申し訳ないと思うけれど、それじゃあ私たちの県で引き受けましょうとは、誰も言わない。米軍基地のない日本が安全保障の面からやっていけるのか、と言ったより本質的な問題を措くとしても、同じ国民である以上、負担は公平であるべきだという、一応の「正解」さえもここでは放置されたままである。

このような問題は、誰かに尋ねれば正解を与えてもらえるという問題では決してないのだ。また単に正解を求めるという作業だけでは決して解決できないものなのである。

⁽³⁾ 私たちは、そんな社会に暮らしているし、若者たちは、大学を出れば、そのような社会のなかで生活をしなければならなくなる。

(永田和宏, 知の体力, 新潮社, 2018, 15-17)

問1 下線部(1)「そんな社会人ばかりが増えていく」について, このような事象が生じている理由を著者の考えを用いて 100 字以内で述べなさい。

問2 課題文のタイトルである「答えのない問題」とは, どのようなことがあるか。課題文に記載されている以外の具体例を挙げ, 100 字以内で述べなさい。また, その具体例が下線部(2)のどの内容に該当するのか, 番号を述べなさい。

問3 下線部(3)「私たちは, そんな社会に暮らしているし, 若者たちは, 大学を出れば, そのような社会のなかで生活をしなければならなくなる。」の「そのような社会」に対応するために, どのような行動が求められると考えますか。あなたの考えを根拠とともに 400 字以内で述べなさい。